Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	株式会社ラエー	-ドラメア		
所在地	株式会社ラモードラメア 東京都町田市小山町 2608-4 マナベ店舗 1 階			
業種	東京都町田市小山町 2608-4 マグン店舗 1 階 P 医療, 福祉			
 常用労働者数	7人			
事業内容	<i>「</i>			
ホームページ	放麻後等ケイサーし入 https://jihatsu.net/d/facility/35342			
1 ニーズ調査				
①実施日	令和4年9月20日~9月27日			
②方法	アンケート用紙を配布し回答後回収、集計			
③回収率	対象者(都内全従業員) 7名のうち回収数 7名			
	回収率 100%(回収数/対象者)			
④調査結果概要	(調査により明らかになった課題)			
	・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について			
	介護をした経験がある人が約3割いた。現在介護をしている人はいなかっ			
	た。			
	・今後の従業員の介護見込みについて 今後5年間のうちに介護をする可能性がかなり高い・可能性が少しあるとい			
	う人が8割以上いた。 主に介護するのは自分だという人もいた。			
	・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について			
	・			
	全員が「制度の内容がわからない・制度があるが知らない・制度はない」と 回答した。全く知られていないことが明確になった。			
	● 自合した。全く知られていないことが明確になった。・介護と仕事の両立に関する不安について			
	介護と任事の同立に関する不女について 介護をしながら今の仕事を続けられるかわからないという人が7割近くい			
	た。 何に対して不安か、という質問については、「介護休業を取得すると収入が			
	洞に対して小女が、という質問については、「角護休業を取得すると収入が 減ること」「介護休業を職場で取得している人がいないこと」「介護と仕事の			
	画立の仕組みがわからないこと」「月護かいつまで続くがわからり、行来の見 通しを立てにくいこと」などを回答した人が多かった。			
	・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について			
	もし介護をすることになった場合、介護休業や介護のための短時間勤務などの			
	支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、仕事と介護を両立			
	したいと7割の人が回答した。			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
①設置日	令和4年10月20日			
②メンバー	総計 2名(うち都内勤務の従業員 1名)			
	(メンバー内訳) 代表取締役、社員1名			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	10月20日	10:00~10:10	活動内容及びスケジュールの確認	2名
	10月20日	10:10~10:30	調査結果概要説明、取組案の提示	2名
	10月21日	10:00~10:20	取組案について意見交換、確定	2名
3 策定した取組計画(内容及び取組時期)				

令和4年11月~ 自社の介護休暇・介護休業の制度や申請方法について、掲示などで年に1回 情報提供する。

令和5年 4月~ 年1回程度、定期的な個人面談を実施する。